

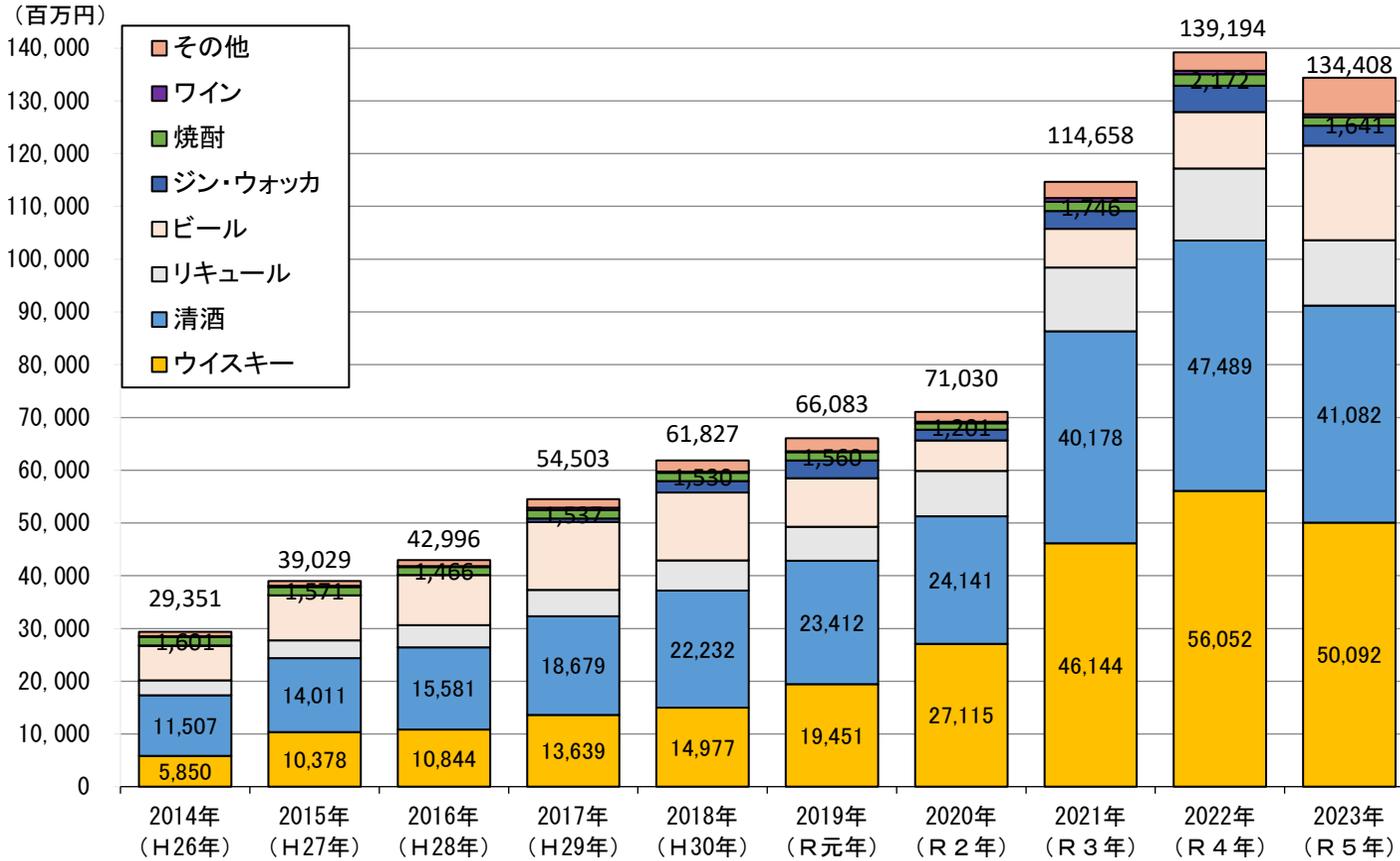
日本産酒類における  
新たなクールジャパン戦略関連の取組について

令和6年6月27日  
財 務 省

# 最近の日本産酒類の輸出動向について

(2024年2月作成)  
(2024年3月更新)

- 2023年分の輸出金額は1,344億円(対前年比▲3.4%)となり、過去最高となった2022年に次ぐ水準。
- 品目別ではウイスキー、清酒が全体の輸出金額の68%。世界的な物価高や一部の国・地域における消費減退、米国における長引く在庫調整等の影響で、多くの品目において輸出金額が減少した中、ビールは好調(対前年比+66.6%)。



○品目別輸出金額 (単位: 百万円)

品目	2022年	対前年増減率	2023年	対前年増減率
ウイスキー	56,052	+21.5%	50,092	▲10.6%
清酒	47,489	+18.2%	41,082	▲13.5%
リキュール	13,610	+12.8%	12,433	▲8.6%
ビール	10,746	+46.0%	17,906	+66.6%
ジン・ウォッカ	4,970	+46.5%	3,758	▲24.4%
焼酎	2,172	+24.4%	1,641	▲24.4%
ワイン	686	▲0.1%	567	▲17.4%
その他	3,470	+12.6%	6,930	+99.7%
合計	139,194	+21.4%	134,408	▲3.4%

○輸出金額上位10か国・地域 (単位: 百万円)

国・地域	2022年	対前年増減率	2023年	対前年増減率
中華人民共和国	39,457	+23.2%	32,221	▲18.3%
アメリカ合衆国	26,780	+12.5%	23,719	▲11.4%
大韓民国	5,576	+101.8%	14,272	+156.0%
台湾	12,029	+29.3%	13,516	+12.4%
香港	11,593	▲21.4%	9,444	▲18.5%
シンガポール	8,237	+62.6%	7,693	▲6.6%
オランダ	4,203	+8.4%	6,710	+59.7%
オーストラリア	5,619	+34.0%	6,583	+17.2%
フランス	6,185	+7.6%	5,062	▲18.2%
英国	2,386	+109.8%	1,983	▲16.9%
(参考)EU・英国	15,619	+22.3%	16,358	+4.7%

## ○2023年の輸出金額の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
輸出金額 (億円)	82.7	130.1	138.1	103.2	130.8	115.9	132.5	101.7	109.0	104.7	86.6	108.7	1344.1
対前年比 (%)	▲3.1	+45.5	▲0.4	▲13.2	+14.1	▲20.5	+4.7	▲10.2	▲11.5	▲7.9	▲20.7	▲4.2	▲3.4

出典: 財務省貿易統計(2024年3月13日時点の数値で作成)

# 酒類事業者向け補助金

- 酒類事業者による、日本産酒類のブランディング、インバウンドによる海外需要の開拓などの海外展開に向けた取組及び国内外の新市場開拓などの意欲的な取組を支援することにより、日本産酒類の輸出拡大及び酒類業の経営改革・構造転換を図るとともに、酒類業の健全な発達を促進することを目的とする。

## 【活用事例】

### 濱田酒造株式会社（鹿児島県）

#### グローバル市場開拓に向けた輸出専用商品の展開

- ・高アルコール度数が求められる世界の蒸留酒市場で戦うためアルコール度数40%規格の輸出専用商品を開発
- ・海外展示会への出展や海外酒類コンテストへの出展により情報発信



### 株式会社SAKE BASE（東京都）

#### 大規模SAKEイベント KAMPAIフェスの開催

- ・事業者及び消費者に、現地向けブランドを提供する大規模イベントを開催
- ・現地インフルエンサーの協力のもとオンラインでの情報発信を強化
- ・現地流通業者の銘柄も併せ、メキシコでのSAKEブームを共に構築



### 株式会社仙醸（長野県）

#### 醸造体験を軸にした外国人向け酒蔵ツーリズム

- ・海外の日本酒愛好家やバイヤーが、日本酒の醸造について英語で学び、体験できる研修プログラムを開発
- ・通年で、モニターツアーを実施するための環境を整備



### 田治米合名会社（兵庫県）

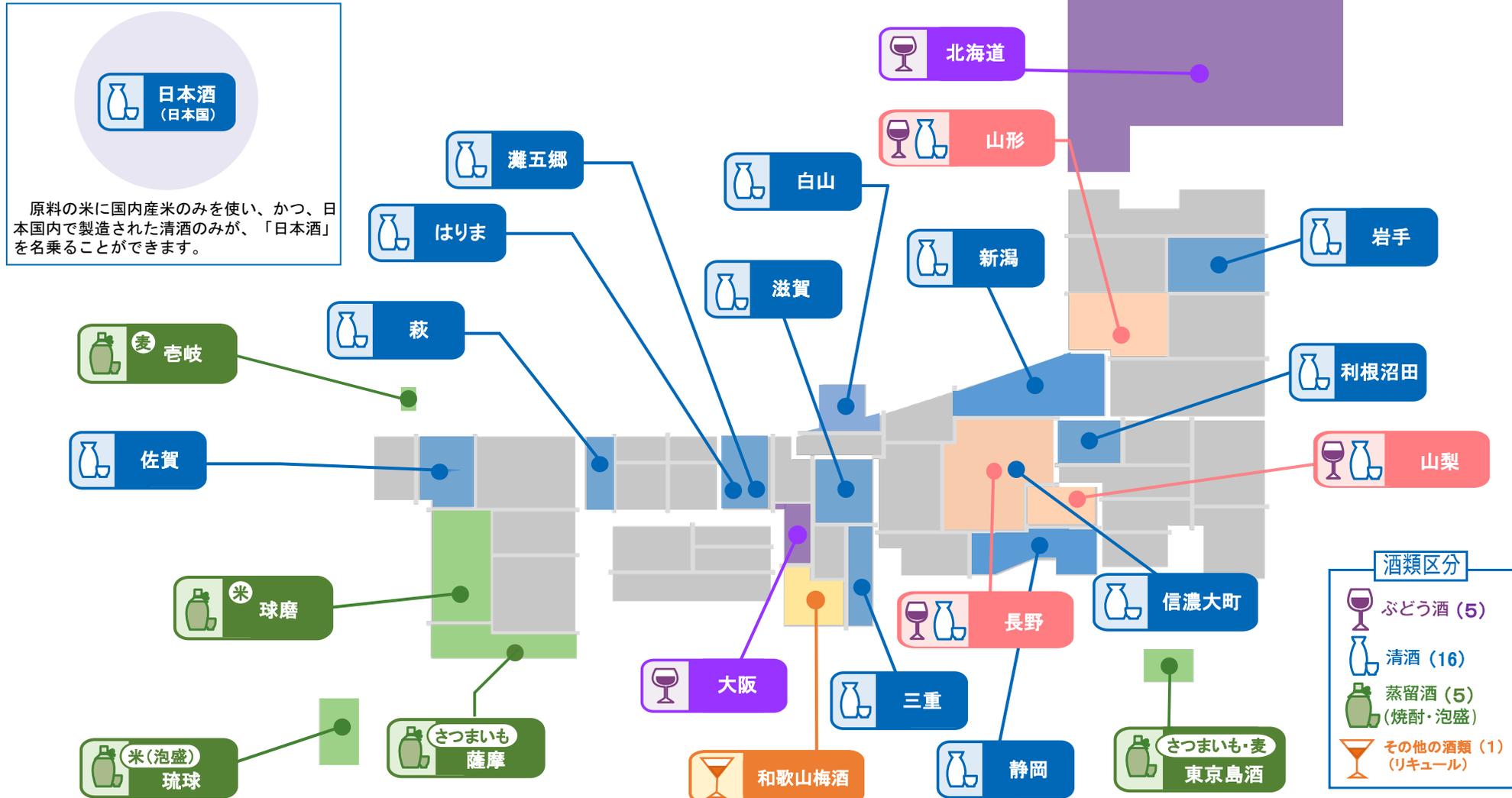
#### 歴史的建造物群を活用した体験型ツーリズム

- ・300年余の酒蔵の歴史的景観の魅力を高め、インバウンドも安全で快適に過ごせる体制を整備
- ・周辺の歴史的な街並みやホテルの飛び交う川等の観光コンテンツと一体的な滞在型観光・市内周遊を企画



# 酒類の地理的表示の指定状況

- 酒類の地理的表示 (GI) 制度を活用することにより、国内外に対して日本各地の特色ある酒類が広く認知され、日本産酒類のブランド価値向上を図ることを目的とする。
- 今後とも、新規GIの指定や既存GIのブラッシュアップ等を通じて、GIの普及・活用を推進していく。



注 地図上では、都道府県単位で着色を行っており、必ずしも産地の範囲と一致しているわけではありません。

# 日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組

- 「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されれば、日本の食文化等に関心を持ってもらえる契機となるほか、日本の酒文化や技術の継承・発展にもつながることから、文化庁等と連携して機運醸成に取り組んでいる。

## ○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(国内)

- 酒造りの担い手や有識者を交え全国で順次開催

開催年月日	会場	内容
令和4年2月26日	国立科学博物館(東京)	こうじ菌文化に焦点
3月26日	京都国立博物館	日本酒に焦点
5月28日	沖縄県立博物館・美術館	泡盛に焦点
6月11日	福岡国際会議場	本格焼酎に焦点
11月5日	名古屋クレストンホテル	みりんに焦点
令和5年3月5日	江陽グランドホテル(仙台)	東北の酒造りに焦点
3月23日 24日	札幌駅前地下歩行空間	北海道の酒造りに焦点
10月8日	しいのき迎賓館(金沢)	石川の酒造りに焦点
令和6年2月24日	池田総合体育館(徳島)	四国の酒造りに焦点



(パネルディスカッションの様様)



(酒造り唄の披露)

## ○ ALT(小中学校等の外国語指導助手)等を通じた広報

- 日本に滞在中のALT等の在留外国人向け酒蔵見学ツアーを開催
- 令和5年11月～令和6年3月に、北海道から沖縄までの36道府県で開催
- 体験談は本人SNSを通じ母国へ情報発信のほか、自治体国際化協会の機関誌に体験記を掲載



## ○ 「伝統的酒造り」シンポジウム(海外)

- 令和5年2月2日 パリ日本文化会館  
ユネスコ各国大使や仏の酒類関係者等を招待し開催。現地の清酒製造者や仏人講師等を交え、ワインと比較しながら、日本の酒造りを訴求



- 令和5年5月23日 在フランクフルト日本国総領事 公邸  
行政、メディア関係者等を対象としたセミナー及びレセプションを開催。日本料理や西欧フュージョン料理とのペアリング体験を実施



- 令和5年9月25日 ジャパンハウス・ロンドン  
伝統産業(日本酒・ワイン)に携わる日英の女性醸造家による対談(トークセッション)を実施



- 令和5年11月15日～20日 在スペイン日本国大使公邸 等  
行政やメディア関係者を対象とし、日本食普及親善大使や利き酒師によるセミナー等を実施



- 令和6年3月7日～11日 ローマ文化会館 等  
メディアや料飲業者等を対象とし、伊人酒サムライや日本の酒蔵によるセミナー及びパネルディスカッション等を実施

